

輸血部

1. スタッフ構成

- 名和 由一郎(がん治療センター長、改善推進本部長、輸血部長)
- 石丸 美架(検査部長、検査部技師長)
- ＜輸血検査係＞
- 石田 由香(係長)、小平 美代子、竹岡 輝樹

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本輸血・細胞治療学会認定医	名和由一郎
日本輸血・細胞治療学会細胞治療認定管理師	名和由一郎、石田由香
日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師	石田由香、竹岡輝樹
日本臨床検査同学院二級臨床検査士(免疫血清学)	竹岡輝樹
日本臨床検査同学院緊急臨床検査士	竹岡輝樹、小平美代子
日本不整脈心電学会心電図検定1級	竹岡輝樹
日本不整脈心電学会心電図検定2級	石田由香、竹岡輝樹

＜学会施設認定＞

- 日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
- 日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師制度指定施設

3. 運営方針

- 高度先進医療を支える国際規格に適合した輸血部を確立します。
- 患者さんと関係者の利益を優先した良質な臨床検査サービスを提供します。
- 輸血業務の正確性・安全性・迅速性・経済性を追求した継続的な技術向上と品質改善に努めます。
- 医療の発展と福祉に貢献できる人材を育成します。
- 輸血部要員は伝達された品質方針・品質目標・品質マニュアルをよく理解し、これを遵守して業務を行います。

4. 実績

■ 検査件数

	2021	2022	2023
血液型	14,448	14,909	15,153
直・間 不規則抗体	6,752	7,062	7,118
交差試験	8,073	8,550	8,006
輸血管理	17,815	18,388	16,943
合計	47,088	48,909	47,220

■ 血液製剤の購入状況(単位換算)

	2021	2022	2023
照射赤血球液	11,672	12,053	11,189
照射人全血液	0	0	0
照射解凍赤血球液	0	8	0
新鮮凍結血漿	6,576	5,706	5,144
照射濃厚血小板	19,040	20,785	22,230
購入額(円)	316,609,795	327,286,286	325,406,443

■ 血液製剤の廃棄状況(単位換算)

	2021		2022		2023	
	廃棄	廃棄率	廃棄	廃棄率	廃棄	廃棄率
照射赤血球液	30	0.26%	6	0.05%	12	0.11%
照射人全血液	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
照射解凍赤血球液	0	0.00%	6	75.0%	0	0.00%
新鮮凍結血漿	28	0.43%	30	0.53%	26	0.51%
照射濃厚血小板	30	0.16%	10	0.05%	50	0.22%
廃棄金額(円)	773,720		509,244		718,546	

5. 2024年度目標

- 品質マネジメントシステムを運用し、維持改善に関しISO15189の要求事項に適合するよう管理を行います。
 - 品質文書のレビュー100%実施
- 検査前から検査後まで、すべての利用者へのサービスの向上を目指します。
 - 苦情や不適合、検査過誤等を前年度より10%削減
- 資源の見直し、環境やシステムの改善を図ります。
 - 業務に影響を及ぼすトラブルを前年度より削減
- 職員の教育訓練・自己啓発を推進し、レベルアップを目指します。
 - 部内の勉強会参加率全体の70%以上(1人3回以上)

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 石田由香、川本光江、亀岡千映子、竹岡輝樹. 稀な血液型患者への輸血症例. 第68回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会. 島根(2023.9.9)
- 石田由香、川本光江、亀岡千映子、竹岡輝樹. 夜間宿直帯に遭遇した自己免疫性溶血性貧血患者への輸血症例. 2023年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第56回). 松山(2023.9.16-17)
- 竹岡輝樹、石田由香、亀岡千映子、川本光江. 輸血によりHBsAb、HBcAbが陽転化した一症例. 2023年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第56回). 松山(2023.9.16-17)